

20年後の須古

ここを目標に

はじめての一步

須古地区のみんなが須古の自慢できる所を知っている、伝えている

20年後にはこんな須古になっているよ！

子ども達が須古の中で活躍、活動しながらのびのびと育っている

災害に強い須古地区になった

11月15日第2回須古地区の暮らしと未来をつくる会議を開催。「須古の魅力を発見・発掘する」「防災」「子ども」の柱ごとに未来と必要な活動を考えました。さらに今回は須古で生まれ育った中学生と地域研究を行っている佐賀大学生・白石高校生が加わり、幅広い年代でにぎやかさがあふれる会になりました。

- 須古遺産を守ることを目標とした活動
- 祭や行事を受け継ぐことを目標とした活動
- 町外の人が須古に関わりやすくすることを目標とした活動

- 子ども自身が地域で学び、活躍を目標とした活動
- 子ども達を身の回りの危険から守ることを目標とした活動
- 地域と学校をつなぐ活動

- 集落の枠を越えて安全な避難を目標とした活動（自主防災組織）
- 須古版ハザードマップの更新と最新情報の共有を目標とした活動

指導者のネットワークをつくり、どの集落の浮立でも学べるよう練習会を開く
須古の歴史を歩くトレッキングコースをつくる
須古の食文化と歴史文化を学ぶ

子どもと一緒に行事をしていく
須古全体で運動会や子どもクラブ活動をする
地域を体験する機会をたくさんつくる
見守り隊をつくる

近くて安全な、安心できる避難所をつくる
ご近所ハザードマップづくり
集落や全体で避難訓練をする

目標ができる
と頑張りがい
がでる～

みんなですぐにでも、
できることってたくさん
あるね

●必要なこともやらないことも考えない
人口減少が少しずつ進んでいく須古地区です。が、実は40歳代人口が少なくなっている中、地域支え合いが必要ないことに加えて、やらなければならない議論を進めなければなりません。まずは須古全体の20年後をみんなの未来にたどり着くまでを、ホップ・ステップ・ジャンプで話し合いをしましょう。

●5キロ先では、避難できない
いたのは災害が起きた時にどこで避難するか、隣近所が遠くなら、すぐに声をかけられないというところへの想定も、声をかけられることはできるけれど、一人だけでは高齢者を連れていくことは難しいなあ、5キロ先の避難所までは行けない、せめて1キロ以内でないと、次々と

車で回りながら避難ができたらいねなど、それぞれに地域を思い浮かべながら話し合いを進めていきました。

●須古が好きだから一緒にやりたい
中学生からはおとなの方々が考えていることがわかって、よかった。自分でも何かできることをしたいという感想が聞かれました。地域と世代の参加を積極的に進めたいことを再確認しました。

須古の20年後を話してみたよ

